

令和2年度 第1回理事会 資料

議案第1号 2019年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 事業報告

1 「国際交流のまちづくり」事業の推進

(1)「第26回みなこいワールドフェスタ」(10月19日～27日)の開催

- ① 19日 地球の料理教室
中川村文化センター 調理実習室
- ② 20日 駒ヶ根訓練所開設40周年記念トークイベント
～日本も世界も元気にする協力隊～
JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所
- ③ 21日 地球のステージ
JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所
- ④ 23日 映画「クロスロード」無料上映会
駒ヶ根市総合文化センター 視聴覚ホール
- ⑤ 25日 JICA 国際協力出前講座
駒ヶ根市赤穂南小学校
- ⑥ 27日 こまがね国際広場 広小路商店街、銀座商店街、駅前ビル アルパ
(協力：2次隊候補者76人、看護大生、赤穂高校生、JICA・JOCA職員)

(2) こどもまつり(4月27日)参加

- ① 世界の遊び体験広場の開設 (訓練所40周年記念缶バッジ作成コーナー運営)

(3) 中学生体験入隊(11月9・10日)の開催

参加者 33名(赤穂中学校9名、東中学校8名、飯島中学校5名、中川中学校1名、宮田中学校3名、春富中学校2名、下諏訪中学校1名、豊科南中学校1名、富士見中学校2名、信州大学附属松本中学校1名)
(協力：2次隊候補者13名協力)

2 地域住民による国際協力活動への参加を推進する事業

(1)「小さなハートプロジェクト」支援活動

- ① 書き損じはがき等の回収…市報2月号、2月6日隣組回覧で呼びかけ
- ② 書き損じはがき 377,167円分(6,663枚)、未使用切手 70,041円分(1,055枚)を回収

(2)「世界の笑顔のためにプログラム」支援活動

- ① リコーダー、鍵盤ハーモニカ、スポーツ用品等の回収(こどもまつり、MWF)
- ② 「世界の笑顔のためにプログラム」2018年度事業が凍結されたため、赴任するJICA海外協力隊員等を通じて、5カ国へソプラノリコーダー9本、鍵盤ハーモニカ3台、そろばん2台、算数セット2セットを譲渡した。

3 JICA 海外協力隊の激励・支援事業

(1) 訓練修了時における記念品(オリジナル手ぬぐい)の贈呈

1次隊：180名 2次隊：185名 3次隊：125名 合計：490名

(2) 地元出身 JICA 海外協力隊激励会の開催

1次隊 野崎 榛香さん(派遣国：ミクロネシア)

原口 風花さん(派遣国：トンガ)

2次隊 杉田 純治さん(派遣国：ガボン)

※3次隊の岡島律子さん、中島雅樹さんは新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

(3) 入所時に「協力隊通り」に激励旗の設置(毎隊次)

(4) 「小さなハートプロジェクト」要請1件、「帰国隊員支援事業」要請1件への支援

4 広報啓発活動

(1) 駒ヶ根協力隊を育てる会 NEWS の発行(3月) 会員へ発送

(2) Facebook を活用した活動の紹介 随時

(3) 「クロスロード」の購読、配布(23か所) 毎月1回

(4) 修了式へ会員の参加呼びかけ 毎回5名程度

5 JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 40周年記念事業の実施(元気づくり支援金活用)

(1) 映画上映会

①アサンテサーナ～わが愛しのタンザニア～ 6月29日

こまがね市民活動支援センター：参加者数19人

②クロスロード 10月23日(協力隊週間事業)

駒ヶ根市総合文化センター 視聴覚ホール：参加者数34人

(2) 料理教室

①スリランカ料理教室 6月29日

駒ヶ根市総合文化センター 料理実習室：参加者数31人

②ネパール料理教室 10月19日(協力隊週間事業)

中川村文化センター 調理実習室：参加者数11人

③チュニジア料理教室 12月21日

駒ヶ根市総合文化センター 料理実習室：参加者数32人

(3) 「信州駒ヶ根ハーフマラソン」連携事業

①市内に全戸配布される応援旗の製作

②JICA ボランティア枠で出走するランナーの特別ゼッケン製作

(4) 懸垂幕・横断幕の製作

40周年記念をPRする懸垂幕、横断幕を製作し掲揚

懸垂幕：駒ヶ根駅前ビル アルパ

横断幕：駒ヶ根市役所 屋上

議案第1号



(6/29 料理教室の様子)



(11/9、10 中学生体験入隊の様子)



(10/27 国際広場の様子)



(10/27 国際広場の様子)



(7/12 地元出身隊員激励会の様子)



(40周年記念事業懸垂幕設置の様子)

2019年度 開催行事・会議等一覧

1. 諸行事・会議(「みなこいワールドフェスタ」、「中学生体験入隊」を除く)

<2019年>

- 4月11日 会計監査実施
第1回幹事会
- 15日 理事会
- 16日 第4回駒ヶ根訓練所開設40周年記念イベント実行委員会
- 24日 第37回総会
- 26日 2019年度1次隊 入所式
- 27日 「こどもまつり」にて物品回収
- 5月16日 第5回駒ヶ根訓練所開設40周年記念イベント実行委員会
- 30日 (一社)協力隊を育てる会第43回総会(有賀会長)
- 6月12日 第6回駒ヶ根訓練所開設40周年記念イベント実行委員会
- 22日 共催事業「大使村まつり」前夜祭をばとなどで開催
- 23日 共催事業「大使村まつり」を銀座商店街で開催
- 29日 訓練所40周年記念事業 スリランカ料理教室を開催
訓練所40周年記念事業 映画上映会を開催
- 7月 3日 2019年度1次隊 修了式
- 10日 1次隊地元出身隊員激励会を開催
- 18日 第7回駒ヶ根訓練所開設40周年記念イベント実行委員会
- 8月21日 第8回駒ヶ根訓練所開設40周年記念イベント実行委員会
- 9月13日 2019年度2次隊 入所式
- 25日 第9回駒ヶ根訓練所開設40周年記念イベント実行委員会
- 10月16日 第10回駒ヶ根訓練所開設40周年記念イベント実行委員会
- 19日 訓練所40周年記念事業 ネパール料理教室を開催
- 23日 訓練所40周年記念事業 映画上映会を開催
- 11月22日 2次隊地元出身隊員激励会を開催
- 12月21日 訓練所40周年記念事業 チュニジア料理教室を開催

<2020年>

- 1月 8日 2019年度3次隊 入所式
- 2月 6日 定例文書配布で書き損じはがき等回収
- 3月16日 2019年度3次隊 修了式
- 3月25日 駒ヶ根協力隊を育てる会 NEWS 発行

2. 「第26回みなこいワールドフェスタ」関連行事・会議

<2019年>

- 4月18日 第1回正副部会長会
- 5月17日 第1回実行委員会
- 6月12日 第2回正副部会長会
- 7月11日 第2回実行委員会
- 8月 5日 第3回正副部会長会
- 9月 6日 第3回実行委員会
- 13日 JICA 海外協力隊協力者募集案内
- 25日 出展者説明会
- 10月 9日 第4回正副部会長会
- 12日 新聞チラシ折込み
- 17日 JICA ボランティア協力者説明会
- 12月 5日 第5回実行委員会

3. 「中学生体験入隊」関連行事・会議

<2019年>

- 7月30日 第1回実行委員会
- 8月中旬 参加募集通知を伊南地域の中学校へ配達
- 27日 第2回実行委員会
- 9月13日 JICA 海外協力隊へ協力要請
- 10月16日 JICA 海外協力隊協力者（13名）への説明会
- 31日 第3回実行委員会
- 11月 9日 中学生体験入隊（1日目）
- 10日 中学生体験入隊（2日目）
- 第4回実行委員会（振り返り）

2019年度 学用品寄贈

「世界の笑顔のためにプロジェクト」休止のため、任国へ派遣される隊員へ直接譲渡

第1回目譲渡物品(2019年度1次隊隊員へ譲渡)

物品	数量	単位	送付先
鍵盤ハーモニカ	3	台	ミクロネシア
算数セット	2	セット	セネガル、パプアニューギニア
そろばん	2	台	トンガ
ソプラノリコーダー	9	本	ベナン

2019年度「小さなハートプロジェクト」等支援実績

「小さなハートプロジェクト」 1件

1 地域住民と子どもたちが集うコミュニティセンターの改修プロジェクト

派遣隊次：2017年3次隊 隊員名：浅井 梢
 職 種：環境教育 派遣国：ドミニカ共和国
 事業内容：使われなくなった施設を改修し、コミュニティセンターとして再生
 支 援 額：150,000円（総事業費：300,000円）

「帰国隊員支援」 1件

2 世界を繋ぐバレーボールプロジェクト

派遣隊次：2014年9次隊 隊員名：小川 美沙
 職 種：バレーボール 派遣国：ルワンダ
 事業内容：南信地域から寄贈されたバレーボール用具を途上国へ輸送
 支 援 額：59,800円（総事業費：59,800円）

2019年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 決算書

収入	2,023,112
支出	1,504,669
収入支出差引	518,443

<収入の部>

費目	予算額 (A)	収入済額 (B)	比較 (B-A)	摘要
繰越金	444,150	444,150	0	
会費	670,000	623,000	△ 47,000	会費(個人332 団体27 法人93) 個人会員 (221口) 221,000円 団体会員 (42口) 84,000円 法人会員 (106口) 318,000円
助成金	80,000	80,000	0	(一社)協力隊を育てる会
負担金	440,000	457,767	17,767	第36回総会後懇親会負担金 86,000円 地元出身JICA海外協力隊・激励会(61人) 122,000円 体験入隊負担金(33人、スタッフ9人) 75,000円 40周年記念事業市補助金 140,167円 料理教室参加費 34,600円
雑収入	510,972	418,195	△ 92,777	預金利息 2円 総会後懇親会返金 193円 元気づくり支援金 418,000円
計	2,145,122	2,023,112	△ 122,010	

<支出の部>

費目	予算額 (A)	支出済額 (B)	比較 (B-A)	摘要
事業費	1,825,404	1,321,784	△ 503,620	
みなこいワールドフェスタ	400,000	200,000	△ 200,000	負担金 ※大使村に一部費用協力してもらったため減額
中学生体験入隊	110,000	53,751	△ 56,249	食事代、保険料ほか
海外協力隊等記念品	240,000	204,138	△ 35,862	日本手ぬぐい500枚
啓発事業	200,000	63,150	△ 136,850	クロスロード購読、育てる会NEWS
ボランティア激励・報告	200,000	224,600	24,600	総会後懇親会、地元出身隊員激励会
国際交流事業	40,000	0	△ 40,000	
元気づくり事業	635,404	576,145	△ 59,259	40周年記念事業 (元気づくり支援金対象外費用17,978円含む)
事務費	250,000	182,885	△ 67,115	
印刷・通信費	140,000	130,724	△ 9,276	各種通知発送料
会議・旅費	60,000	10,540	△ 49,460	(一社)協力隊を育てる会総会、臨時総会出席
他団体会費	15,000	13,848	△ 1,152	(一社)協力隊を育てる会、市民活動支援センター
備品・消耗品	35,000	27,773	△ 7,227	各種事業消耗品、事務用品
寄付金	0	0	0	
予備費	69,718	0	△ 69,718	
計	2,145,122	1,504,669	△ 640,453	

2020年4月10日時点

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 有賀 秀樹

2019年度「ちいさな国際貢献運動」特別会計決算書

収入	4,325,916
支出	220,500
収入支出差引	4,105,416

<収入の部>

費目	予算額 (A)	収入済額 (B)	比較 (B-A)	摘要
繰越金	3,951,647	3,951,647	0	
収入	500,000	374,235	△ 125,765	書き損じはがき、未使用切手換金
雑収入	34	34	0	利息
計	4,451,681	4,325,916	△ 125,765	

<支出の部>

費目	予算額 (A)	支出済額 (B)	比較 (B-A)	摘要
通信運搬費	10,000	0	△ 10,000	学用品の運搬費
ちいさな国際貢献運動	500,000	210,680	△ 289,320	支援件数1件 150,880円 帰国隊員支援 59800円
消耗品	10,000	9,820	△ 180	書き損じハガキ・切手回収封筒
予備費	3,931,681	0	△ 3,931,681	
計	4,451,681	220,500	△ 4,231,181	

2019年度末 財産調書

1 記念品在庫

品名	2018年度末	2019年度末	備考
オリジナル日本手ぬぐい	935	912	増)仕入れ 500枚購入 減)JICAボランティアへ寄贈 490枚 その他寄贈 33枚、販売 0枚
オリジナルオルゴール	62	62	

2 回収はがき・切手在庫

	2018年度末	2019年度末	備考
書き損じ・未使用はがき	9,399枚 496,503円分	8,120枚 436,432円分	増) 回収6,663枚 (377,167円分) 減) 交換…7,920枚 (436,600円分) 交換不可…22枚 (638円分)
未使用切手	3,819枚 172,079円分	4,834枚 238,890円分	増) 回収1,055枚 (7,004円分) 減) 交換40枚 (3,200円分)


2020年4月10日時点


駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 有賀 秀樹

会計監査報告

2019年度駒ヶ根協力隊を育てる会の収支決算の監査を2020年6月18日に実施した結果、収支適正であり、計算に誤りがなく、諸帳票類の整備保存は良好であったことを認めます。

2020年 6月 18日

監事 横田克彦 

監事 小松恭二 

2020年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 役員(案)

役職名	氏名(敬称略)	所 属	部 会
名誉会長	高坂 保	前会長	
顧問	佐々木 祥二	長野県議会議員	
	清水 正康	長野県議会議員	
	伊藤 祐三	駒ヶ根市長	
	下平 洋一	飯島町長	
	宮下 健彦	中川村長	
	小田切 康彦	宮田村長	
	三原 一高	駒ヶ根市議会議長	
	堀内 克美	飯島町議会議長	
	山崎 啓造	中川村議会議長	
	天野 早人	宮田村議会議長	
	山本 保博	(一社)協力隊を育てる会会長	
	清水 勉	駒ヶ根青年海外協力隊訓練所所長	
	杉田 威志 (小林恭介)	青年海外協力隊長長野県OB会会長 (今年度交代予定)	
	会長	有賀 秀樹	
副会長		駒ヶ根市社会福祉協議会会長 ※2019.7～有賀会長	
	増澤 良雄 (春日俊也)	駒ヶ根ロータリークラブ会長(7月1日から)	
	新井 博 (米沢浩一)	駒ヶ根ライオンズクラブ会長(7月1日から)	
	福澤 秀宏	駒ヶ根商工会議所会頭	
理事	御子柴 茂樹	上伊那農業協同組合代表理事組合長	
	小松原 繁樹	ネパール交流市民の会会長	
	村岡 紳介	昭和伊南総合病院院長	
	窪田 雅則	トカルパのひかり会長	
	ホセ・デ・ヘスス・アビティア	飯島町国際協力会会長	
	春日 俊也	会員	
	伊藤 茂昭	青年海外協力隊長長野県OB会役員	
	新井 亮太	(一社)駒ヶ根青年会議所理事長	
	加藤 道生	会員	
堀内 好夫	会員		
池崎 保	会員		
幹事長	佐藤 和樹	会員	体験入隊部会
副幹事長	坂元 洋	会員	みなこいワールドフェスタ部会
	宮澤 正輝	会員(飯島町国際協力会)	帰国隊員交流
	細田 隼平	会員	訓練所活用・広報部会
幹事	飯塚 健一郎	駒ヶ根青年海外協力隊訓練所業務課長	調整役
	酒井 崇宏	飯島町地域創造課地域係長	帰国隊員交流
	桃澤 清隆	中川村総務課庶務係長	訓練所活用・広報部会
	伊藤 広和	宮田村総務課長	訓練所活用・広報部会
	井坪 義文	会員	訓練所活用・広報部会
	小田切 康男	会員	訓練所活用・広報部会
	塩沢 寿一	会員	みなこいワールドフェスタ部会
	宮下 進吾	会員	体験入隊部会
	宮脇 哲也	会員	体験入隊部会
	湯澤 英喜	会員	体験入隊部会
	北原 和明	会員	みなこいワールドフェスタ部会
	小川 まどか	会員	みなこいワールドフェスタ部会
	上野 好弘	会員	みなこいワールドフェスタ部会
	澤田 繁子	会員	みなこいワールドフェスタ部会
	大山 崇人	会員	みなこいワールドフェスタ部会
	西那 隆志	会員(一社)駒ヶ根青年会議所	みなこいワールドフェスタ部会
	野村 裕範	会員(元JICAボランティア)	帰国隊員交流
	北原 照美	会員(元JICAボランティア)	みなこいワールドフェスタ部会
	椎名 千佳子	会員(元JICAボランティア)	体験入隊部会
唐澤 国洋	会員(元JICAボランティア)	体験入隊部会	
塩澤 真洋	会員(元JICAボランティア)	訓練所活用・広報部会	
監事	横田 克彦	会員	
	小松 恭二	会員	
事務局長	市村 義美	駒ヶ根市総務部企画振興課長	
事務局	福澤 修	駒ヶ根市総務部企画振興課 地域振興係長	
	下澤 大地	主事	

2020年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 事業計画 ~~(案)~~

活動方針

伊南地域が一体となって本会の目的を達成するために、本年度は「組織の強化」と「活動の充実」を重点活動として取り組む。

- 1 伊南地域での会員加入促進
- 2 幹事を中心に部会による事業の実施
 - (1) みなこいワールドフェスタ部会
 - (2) 中学生体験入隊部会
 - (3) 訓練所活用・広報部会
 - (4) 帰国隊員交流部会

主要な活動(【】内は担当部会)

- 1 「国際交流のまちづくり」事業の推進
 - (1) 「第27回みなこいワールドフェスタ」の主催【(1)】
- [補足] 国際広場は行わず週間事業などを企画予定
- (2) JOCAとの連携

※今年度の中学生体験入隊は行わない。

- 2 地域住民による国際協力活動への参加を推進する事業
 - (1) 「小さなハートプロジェクト」財源確保のための書き損じはがき等回収
 - (2) 「世界の笑顔のためにプログラム」支援のための物品回収

- 3 JICA 海外協力隊の激励・支援事業
 - (1) 訓練修了時における記念品(オリジナル手ぬぐい)の贈呈
- [補足] 在庫調整し必要数制作
- (2) 帰国隊員および待機隊員への支援

[補足] 訓練待機隊員が伊南地域で研修(地域実践)を行う際の支援、及び、帰国隊員(一時帰国隊員を含む)と地域との交流活動への支援を計画

※今年度は訓練が行われなため激励会や激励旗の設置なし

- 4 広報啓発活動
 - (1) 駒ヶ根協力隊を育てる会 NEWS の発行(3月)【(3)】
 - (2) Facebook を活用した活動の紹介 随時【(3)】
 - (3) 「クロスロード」の購読、配布 毎月1回【(3)】
 - (4) 広報手段の検討

[補足] JICA の現状や当会活動について広く、継続的に発信ができるよう、取り組む。

- 5 その他
 - (1) JICA、JOCA、(一社)協力隊を育てる会、長野県協力隊を育てる会、青年海外協力隊長野県 OB 会、地元国際交流団体等、関係団体との連携活動

2020年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 収支予算書 (案)

収入	1,229,000
支出	1,229,000
収入支出差引	0

<収入の部>

費目	2020年度 (A)	2019年度 (B)	比較 (A-B)	摘要
繰越金	518,443	444,150	74,293	
会費	630,000	670,000	△ 40,000	2020年度会費 会員数 449 (個人 331 団体 26 法人 92)
助成金	80,000	80,000	0	(一社)協力隊を育てる会
負担金	0	440,000	△ 440,000	総会後懇親会負担金 地元出身JICA海外協力隊激励会 体験入隊負担金
雑収入	557	510,972	△ 510,415	預金利息
計	1,229,000	2,145,122	△ 916,122	

<支出の部>

費目	2020年度 (A)	2019年度 (B)	比較 (A-B)	摘要
事業費	890,000	1,825,404	△ 935,404	
みなこいワールドフェスタ	400,000	400,000	0	負担金
中学生体験入隊	0	110,000	△ 110,000	食事代、保険料ほか
海外協力隊等記念品	50,000	240,000	△ 190,000	日本手ぬぐい
啓発事業	200,000	200,000	0	クロスロード購読 育てる会NEWS
帰国・待機隊員支援	200,000	0	200,000	
激励会・報告会等	0	200,000	△ 200,000	総会後懇親会、地元出身隊員激励会
国際交流事業	40,000	40,000	0	
元気づくり事業	0	635,404	△ 635,404	
事務費	250,000	250,000	0	
印刷・通信費	140,000	140,000	0	各種通知発送料
会議・旅費	50,000	60,000	△ 10,000	(一社)協力隊を育てる会総会出席
他団体会費	15,000	15,000	0	(一社)協力隊を育てる会、市民活動支援センター
備品・消耗品	45,000	35,000	10,000	各種書類発送用封筒等
寄付金	0	0	0	
予備費	89,000	69,718	19,282	
計	1,229,000	2,145,122	△ 916,122	

2020年7月10日提出

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 有賀 秀樹

2020年度「ちいさな国際貢献運動」特別会計収支予算書 (案)

収入	4,505,500
支出	4,505,500
収入支出差引	0

<収入の部>

費目	2020年度 (A)	2019年度 実績(B)	比較 (A-B)	摘要
繰越金	4,105,416	3,951,647	153,769	
収入	400,000	374,235	25,765	書き損じハガキ・切手の換金
雑収入	84	34	50	預金利息
計	4,505,500	4,325,916	179,584	

<支出の部>

費目	2020年度 (A)	2019年度 実績(B)	比較 (A-B)	摘要
通信運搬費	10,000	0	10,000	学用品の運搬費
ちいさな国際貢献運動	500,000	210,680	289,320	200,000円～300,000円/件 2件分
消耗品	10,000	9,820	180	書き損じハガキ・切手回収封筒
予備費	3,985,500	4,105,416	△ 119,916	2019は繰越残高を記載
計	4,505,500	4,325,916	179,584	

2020年7月10日提出

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 有賀 秀樹

ちいさな国際貢献運動に関する内規の一部改正 ~~(案)~~

ちいさな国際貢献運動に関する内規の一部を次のように改正する。

第 2 項中「青年海外協力隊員」を「JICA 海外協力隊員（以下「協力隊員」という。）」に改める。

第 3 項の表中「青年海外協力隊員」を「協力隊員」に、「社団法人協力隊を育てる会」を「一般社団法人協力隊を育てる会」に改め、表の大規模災害被災地支援事業の項の次に、次のように加える。

地域貢献活動支援事業	協力隊員が伊南地域等で行う地域課題解決に資する貢献活動を支援する事業	1 件につき 1 0 万円
------------	------------------------------------	---------------

附則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

2020 年 7 月 10 日 提出

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 有賀 秀樹

改正の趣旨

1、地域貢献活動支援事業を追加する。

新型コロナウイルス感染の影響により、一時帰国した協力隊員が、この地域で行う地域課題等をテーマにした、協力隊員に係る活動や取り組みに要した費用を育てる会が支援するもの。

2、呼称の修正によるもの。

ちいさな国際貢献運動に関する内規 新旧対照表

改正前		改正後	
ちいさな国際貢献運動に関する内規 平成18年4月1日制定		ちいさな国際貢献運動に関する内規 平成18年4月1日制定	
(目的) 1 この内規は、駒ヶ根協力隊を育てる会（以下「育てる会」という。）が行うちいさな国際貢献運動について、その内容及び会計等について定めることを目的とする。		(目的) 1 この内規は、駒ヶ根協力隊を育てる会（以下「育てる会」という。）が行うちいさな国際貢献運動について、その内容及び会計等について定めることを目的とする。	
(定義) 2 ちいさな国際貢献運動とは、平和で豊かな世界の実現に向けて活動する <u>青年海外協力隊員</u> を支援すること及び支援するための資金づくりに市民が参画することにより、育てる会及び地域住民が国際貢献及び国際協力に寄与する運動をいう。		(定義) 2 ちいさな国際貢献運動とは、平和で豊かな世界の実現に向けて活動する <u>JICA海外協力隊員（以下「協力隊員」という。）</u> を支援すること及び支援するための資金づくりに市民が参画することにより、育てる会及び地域住民が国際貢献及び国際協力に寄与する運動をいう。	
(支援事業) 3 支援事業の名称、内容及び支援金の限度額は、次のとおりとする。		(支援事業) 3 支援事業の名称、内容及び支援金の限度額は、次のとおりとする。	
区分	内容	区分	内容
小さなハートプロジェクト支援事業	<u>青年海外協力隊員</u> から <u>社団法人協力隊を育てる会</u> を通して支援要請のあった小さなハートプロジェクト案件に対する支援及びそれに関わる経費を支援する事業	小さなハートプロジェクト支援事業	<u>協力隊員</u> から <u>一般社団法人協力隊を育てる会</u> を通して支援要請のあった小さなハートプロジェクト案件に対する支援及びそれに関わる経費を支援する事業
帰国隊員支援事業	協力隊員として活動していた任地の生活改善に携わる伊南地域在住の協力隊OBOGを支援する事業	帰国隊員支援事業	協力隊員として活動していた任地の生活改善に携わる伊南地域在住の協力隊OBOGを支援する事業
大規模災害被災地支援事業	開発途上国での地震や風水害等の大規模災害被災地における復興に携わる協力隊員を支援する事業	大規模災害被災地支援事業	開発途上国での地震や風水害等の大規模災害被災地における復興に携わる協力隊員を支援する事業
その他の事業	その他育てる会が必要と認める国際貢献等を目的とする事業	<u>地域貢献活動支援事業</u>	<u>協力隊員が伊南地域等で行う地域課題解決に資する貢献活動を支援する事業</u>
		その他の事業	その他育てる会が必要と認める国際貢献等を目的とする事業
	1件につき30万円		1件につき30万円
	1件につき30万円		1件につき30万円
	1件につき10万円		1件につき10万円
	育てる会がその都度定める額		<u>1件につき10万円</u>
			育てる会がその都度定める額

改正前	改正後
<p>(支援事業の実施の決定)</p> <p>4 支援事業の実施は、育てる会幹事会において決定する。</p> <p>(資金づくり活動)</p> <p>5 支援事業を行うための資金づくりを行うため、次の活動を行うものとする。</p> <p>(1) 書き損じ・未使用はがき、未使用切手回収活動</p> <p>(2) 募金活動</p> <p>(3) その他必要な活動</p> <p>(会計及び経理事務)</p> <p>6 ちいさな国際貢献運動は、独立した会計により経理するものとし、会計事務は、育てる会事務局が行うものとする。</p> <p>(その他)</p> <p>7 この内規に定めるもののほか、ちいさな国際貢献運動の実施に関し必要な事項は、育てる会幹事会において協議のうえ理事会において決定する。</p> <p>附 則 (平成26年4月23日、一部改正)</p> <p>この規程は、平成26年4月1日から適用する。</p>	<p>(支援事業の実施の決定)</p> <p>4 支援事業の実施は、育てる会幹事会において決定する。</p> <p>(資金づくり活動)</p> <p>5 支援事業を行うための資金づくりを行うため、次の活動を行うものとする。</p> <p>(1) 書き損じ・未使用はがき、未使用切手回収活動</p> <p>(2) 募金活動</p> <p>(3) その他必要な活動</p> <p>(会計及び経理事務)</p> <p>6 ちいさな国際貢献運動は、独立した会計により経理するものとし、会計事務は、育てる会事務局が行うものとする。</p> <p>(その他)</p> <p>7 この内規に定めるもののほか、ちいさな国際貢献運動の実施に関し必要な事項は、育てる会幹事会において協議のうえ理事会において決定する。</p> <p>附 則 (平成26年4月23日、一部改正)</p> <p>この規程は、平成26年4月1日から適用する。</p> <p>附 則 (令和2年7月10日、一部改正)</p> <p>この規程は、令和2年4月1日から適用する。</p>